

163 進学！？それとも就職！？高校生の進路状況

令和 7 年 3 月 20 日掲載

3 月は卒業の季節です。

そこで今回は、2024（令和 6）年度学校基本調査の結果から、昨年 3 月に高等学校（全日制・定時制）を卒業した生徒の進路に関するデータを読み解いてご紹介します。

昨年 3 月の山口県内の高等学校卒業生数は 9331 人です。

このうち、大学・短期大学等への進学者数は 4537 人で、その割合は 49%（全国 43 位）と他の都道府県に比べて低くなっています。

本県の進学率が思いのほか低いことに驚かれる方もいらっしゃるかと思います。が、この調査では高等学校の所在地を基準に集計が行われるため、県内から県外の高校に通学されている生徒さんについては本県の進学者数に反映されていないことに注意が必要です。

一方、高等学校卒業生数に占める就職者の数は 2580 人で、その割合は 28%と全国平均（14%）の 2 倍で全国 1 位となっています。

さらに、就職者数のうち製造業に就職した人の割合は 53%と全国平均（40%）を大きく上回っており、広島県や福岡県などの近隣県と比べても突出していることが分かります。

これは、本県の産業構造の特徴である第 2 次産業の構成比率が高いことが産業別の就業者比率にも明確に表れたものと考えられます。

また、県内・県外別の就職者数をみると、県内に就職した人の割合は 83%と全国平均（82%）とほぼ同様の状況となっています。

終わりに、今回ご紹介した高等学校卒業生の進路状況のほか、24 年度学校基本調査の結果を統計分析課ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

